

福岡歩道橋について

佐藤 秀行



〔質問〕県道白石上山線福岡歩道橋は、老朽化も進み、塗装の剥がれ、さび、ひび割れやゴムの破損等が見受けられる。

〔答弁〕【市長】地域住民からすると、早期に課題を解決してほしいという切実な思いだと受け止めている。老朽化等に伴い、手すり等の劣化が著しいことから、児童生徒はもとより通行者が安心して利用できるよう、管理者である宮

城県に対し、早期に補修工事に着手してもらうよう強く要望していく。

◎教育方針等について

〔質問〕本市の教育の現状と課題を踏まえ、任期である3年先を見通し、今後どのような姿勢で取り組んでいけるのか、新教育長の所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】教育現場の声にしっかりと耳を傾け、各学校の課題解決のために、持続可能な支援を行なってきたい。

各学校の教職員のご理解とご協力をいただくとともに、知恵を出し合い工夫しながら、微力ではあるが精一杯取り組んでいく。

◎小学校学力調査について

〔質問〕小学校学力調査は、子どもたちの学

習状況の改善を図ると同時に、先生方の指導力向上を図ることができると。

学力調査の実施は、学力向上の一つの手立として活用でき、継続した積み重ねによって学力は形成されていくものと思う。

本年度は実施されないが、次年度以降、何らかの形で実施を検討すべきと考ええるが所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】これまで4年間実施して、一定の効果があつたことは認識している。個々の児童の学力を把握し、調査の結果を学力向上に役立てることは必要と考える。

学校現場からも実施してほしいという声があることから、今後、前向きに検討していきたい。

【その他の質問】

◎P4C(探求の対話)について

中学校運動部活動について

佐久間 儀郎



〔質問〕スポーツ庁は、「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を策定した。

この指針を巡り、指導現場の実態として、頑張っている生徒のために休めないといった休養と熱意のバランスに悩む教職員が少なくないという報道を新聞が伝えている。

運動部活動について当局の所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】学習意欲の向上や自己肯

定感、責任感、連帯感等の育成に資するもので、教育的意義は大きいと認識している。

〔質問〕活動時間に関する方針を定める要請に対し、本市はどのように対応するのか。

〔答弁〕【教育長】既に本年2月に基本方針となるものを示しているが、国及び県のガイドラインとの整合性を図り、教員の働き方の労働時間の削減という働き方改革の観点も踏まえ、改めて方針を示したい。

〔質問〕これまで本市では外部指導者について、どのように活用がなされてきたのか。

〔答弁〕【教育長】宮城県内の運動部活動外部指導員派遣事業を活用し、本年度は、現在5名の派遣をいただいている。

〔質問〕昨年4月、学校教育法施行規則に新たに部活動指導員が制度化され、本年度は、部活動指導員配置促進事業が国において予算化された。

この制度活用が望ましいと考えるが所見を伺う。

〔答弁〕【教育長】部活動指導員導入については、部活動が学校教育の一環として行なっていることに鑑み、学校における位置づけが極めて重要であるとともに、教員の働き方改革に呼応することも必要と考えている。

制度活用については、関係者の意見聴取や生徒、保護者などの理解を得る必要があることから、総合的に検討しつつ、当面の間は宮城県が行なっている派遣事業を活用した外部指導員で対応していきたい。

【その他の質問】

◎熱中症対策について